

平成 31 年 3 月 8 日

足立区立加平小学校  
学校長 金泉 隆一 様

足立区立加平小学校 開かれた学校づくり協議会  
会長 種部 一実

## 平成 30 年度 学校関係者評価書

### 1. 自己評価書全般について

各重点目標に継続性があり、この一年間の目標達成に向けて、達成基準、具体的な方策、実施結果、コメント・課題、達成度と、しっかり分析され解り易く纏めて頂いた自己評価書です。

限られた人員・時間の中で、全ての取組みが課題を明確にした上で実行されています。

大変なご苦労があったと思いますが、学校長のもと教職員のご尽力により、目標(取組)の達成度でも、十分な成果を上げられていますので高く評価したいと思います。

児童数も毎年増加している中でも、学校経営計画を前年度より高い目標を掲げ、今年度も各事項の達成の為に必要な措置を講じ問題なく運営されている事は、教職員の並々ならぬ努力があったからだと思います。次年度においても、「笑顔輝く加平小学校」を期待しております。

### 2. 学校から提示された「課題」や「達成度」について

#### 重点的な取組事項－1 学力の向上

「基礎的基本的な学力の定着」「家庭学習の定着」

「基礎的基本的な学力の定着」では、達成基準を区学力調査目標値通過率 4 月実施で 80% 以上にする。また 9 月実施再調査までに各学年 5 ポイント以上改善し 85% にするとされ、4 月実施で全体 81.1%、9 月再調査では、全体 91.1% と達成されました。個に応じた指導を充実・推進した結果です。また、授業力の向上が図られているのだと思います。

国語・算数の基礎的基本的な学力の定着 70.0% 以上の児童を 85.0% とする達成基準でも、全体 90.6% (前年比 0.2 ポイント減) を高く評価したいと思います。様々な方策を実施し今後も 90.0% 以上の達成を目指して指導される事を期待しています。

学校では、定着 70.0% に達していない未達児童に対してのケア・対策を講じているとは思いますが、早い段階での改善が急務と感じます。子どもの学力等に影響する要因として「家庭・地域の環境」「児童の生活習慣や関心・意欲・態度」「学校の教育指導」等が考えられます。協議会でも対応策等の意見交換が必要な問題だと認識しています。

「平成30年度 学力向上アクションプラン」評価シート

「朝学習」「放課後補習教室」「放課後補充」「サマースクール」の各アクションプラン取組は、通常の授業以外での実施となります。指導者されているのが担任の先生への負担が懸念されます。

「家庭学習の習慣の定着」では、各学年での家庭学習の目標時間が 86.7% (前年 86.7%) なので、90% 以上の定着を期待しております。アクションプラン「家庭学習の手引きの活用」達成目標の宿題提出率 90% 以上が平均提出率 93.5% は、家庭学習の手引きの配布により、保護者の家庭学習への意識が徐々に改善されてきているのだと思いたいです。

#### 重点的な取組事項－2 望ましい学習・生活習慣の確立

「進んで挨拶」「生活習慣の定着」「意欲的な学習」

各達成度が、「○:十分に達成」「○:おおむね達成」で評価したいと思います。

進んで挨拶する児童が関係者評価で、84.6%（前年度比1.6ポイント増）となり、元気に・笑顔で挨拶する姿が多くなった事は素晴らしいです。挨拶運動を通年に変更し継続している事により、児童が挨拶の意味や目的を理解してきているのだと思います。今後もこの取組を継続して下さい。

最近では、防犯効果としても挨拶が重要視されています。犯罪を未然に防ぐ効果があると言われています。一方全く逆の考え方で、「知らない人には迂闊に挨拶しない方が良い」とする防犯対策もあるようです。指導には共通認識のもとでお願いします。

「生活習慣の定着」では、早寝70.4%、早起き91.8%、朝食97.7%、テレビ視聴等（2時間以内）92.1%、外で遊んだり運動したりする89.7%と目標が達成でき、少しずつ定着されていると思われます。

コメント・課題にも書かれていますが、早寝の高学年68.2%については、協議会としても家庭への啓発強化に協力したいと考えます。

「意欲的な学習」では、が授業アンケート満足度93.2%達成の結果に安心しました。

毎年の事ですが、児童のスマートフォン利用（所持）が気になります。「加平小学校 SNS学校ルール」を策定していますが、保護者が理解してお手本になっているかがわかりません。

家庭でのスマホ利用（ルール）の考え方には、協議会委員と保護者では世代間ギャップがあると思われますので、評議会としても知識向上を図る為に情報収集に努めたいと思います。

### 重点的な取組事項－3 体力・運動能力の確実な向上

「体育科の指導技術の向上」「体育的活動の充実」「遊びや運動の日常化」

東京都体力・運動能力調査結果では、総合点で都平均値・全国平均値を下回る学年が増えてしまい、学校全体として握力・ソフトボール投げ・長座体前屈に課題があるとありました。

限られた少ない時間の中で学校では、「縄跳び・持久走の取組」「加平ギネス」「ロングの外遊び」等の方策を実施されています。協議会委員の中でも色々な意見がありますので、課題として検討したいと思います。

ソフトボール投げの課題には、次年度も「投げ方教室」を定期的な実施を計画していただきたいです。

体力・運動については、個人差が出る分野です。体の成長速度もバラバラなので、同学年の中でも体格差があります。苦手意識をもった児童にも適切な指導をお願い致します。

「食育・保健指導の充実」は、「○:十分に達成」で問題ありません。

保健授業、保健指導、歯みがき指導、食育指導を来年度も充実したものにしていただきたい。

### 重点的な取組事項－4 豊かな心の育む

「自己肯定感の向上」「読書や歌に親しみ、豊かな心を育む」

各取組を評価します。色々な方策を考え実施された結果だと思います。

児童・保護者・地域アンケートで「楽しく学校生活を送っている」児童:95.9%達成、保護者・地域:94.3%達成の結果に大いに評価できとても安心しました。保護者とは信頼関係が育まれている事が伺えます。

次年度もコメントにありましたが、今後も教育活動を工夫し、友達や先生とのかかわり合いを通して、すべての児童が楽しい学校生活であるように努めていただける事を期待しています。

「思いやりの心の育む」で、異学年活動が楽しい児童自己評価74.5%が達成基準の目標設定を下回った事については、数値的な成果より取組・方策とも意義があるので、今後の活動方法の工夫に期待します。

「読書や歌に親しみ、豊かな心を育む」の達成基準が今年度よりポイント減にならないよう、読書タイム、音楽朝会等の実施をお願い致します。

## 重点的な取組事項－5 幼・保・小中の充実

「教員の交流研修」「児童・園児の交流」「小中連携研修」「児童の中学校体験活動」と各取組の達成度が全て「◎：十分に達成」であった事は、園児から児童へ児童から生徒へのスタート時によい結果をもたらすと思います。今年度もより密な連携に期待をします。

小学校の学校選択が、原則、学区域に隣接する学校だけになります。近隣幼稚園・保育園、加平小学校及び地域と情報共有も必要と考えます。その中で、保護者への小学校入学への準備(良識ある行動)のコンセンサスも必要だと思います。

中学校の学校選択は区内自由ですが、住居近くの地元中学校に通うのが望ましいと考えます。部活優先で選ばれる傾向がありますので、近隣の中学校との連携強化が必須だと思います。

また、中1での生活・素行でのつまずき解消の為にも、「中学校体験活動」の回数を増やしてほしいです。

### 3. 「保護者・地域への期待」について

評価書にも明記されているように、基本的な生活習慣の土台は家庭であり、「躾」「健康管理」「家庭学習」「社会の規範(きまり)を守る」などは家庭の役目です。子供たちに「忍耐強さ」「根気強さ」「自制心」「意欲」「誠実さ」「好奇心」「社会性」「協調性」などの力を育てていく為には、家庭で基盤をつくり、学校で知識や知恵を身につけ、地域で実践していくような連携・協働が必要です。

学校での様々な取組を家庭(保護者)が理解・協力しなければ、効果が上がらない事があると思います。学校からは色々な方法で取組みを周知していますが、理解不足や認識違いの保護者がいます。時には強いメッセージで発信をして良いと思います。

小学校は児童の教育のための施設であるだけでなく、各地域のコミュニティの核としての性格を有することが多く、防災・保育・地域の交流の場等、様々な機能を併せ持っています。また、学校教育は地域の未来の担い手である子供たちを育む営みでもあり、まちづくりの在り方と密接不可分であるという性格も持っています。学校が持つ多様な機能にも留意し、保護者や地域住民の十分な理解と協力を得て「開かれた学校づくり協議会」で丁寧な議論を行いたいと思います。

### 4. その他

本年度も、各取組を実施し目標を達成させるのは大変なご苦労があったと思います。教職員の皆様には感謝申し上げます。

教職員は業務が多岐にわたります。突発的な事象の対応もあり、とてもストレスが溜まると思われます。少しでも負担が軽減出来る様に、協議会はもちろん、保護者・地域の方々が協力する事がマストです。先生方とより良い関係を築く為にも、先生方との意見交換を行いたいと思います。

(文部科学省の「学校における働き方改革」のための取組に期待しています。)

今回評価書作成にあたり協議会委員からの学校関係者評価資料の提出は昨年よりも増え、委員の意識の向上の表れだと思います。足立区教育委員会の資料では、「開かれた学校づくり」は、学校・家庭・地域の皆様が力を合わせて地域性を活かした特色ある学校活動を進め、新しい時代を切り拓く児童・生徒の「たくましく生き抜く力」や「豊かな心」を育てていく取り組みです。開かれた学校づくり協議会の目標と機能を、3つの目標(①地域に根ざした特色ある学校づくり②学校支援活動の充実③家庭と地域の教育力の向上)と、5つの機能(①協議機能②評価機能③支援機能④調整機能⑤実施機能)としています。今一度、協議会委員の皆様には、協議会の取り組みを確認して頂き、加平小学校の教育目標を達成するために、協議会として今後も努力しなければならないと思います。

